



徳嶺勝信

ホーチミンの9月は雨期の真っ最中だ。ベトナムは南北に細長く最大で1千キロほど離れているため、国内でも気候が違う。北のハノイでは沖縄と気候が似て年間平均気温24度、7月の平均最高気温は32・9度に達する。

私の住むホーチミンは5〜10月までが雨期にあたり、バケツをひっくり返したような雨が降る。雨の後は比較的涼しいので雨さえしのげれば最も過ごしやすい時期だ。

先日、初の日越合作映画「ベトナムの風に吹かれて」が公開されるとの記事が出た。ベトナム在住20年の日本人女性がハノイで認知症の母親を日本から迎え入れ、介護した日々をつづった本を映画化したものだ。9月から日本国内で順次公開されていく。

昨今は映画だけではなく、ベトナムを題材にしたテレビ番組や特集記事が多く見受けられるようになった。特にここ数年の注目度は非常に高い。今年に入り日本からの企業進出が相次ぎ話題になっ

日本企業の進出相次ぐ

た。特にセブンイレブンは2017年の開業を予定しており、10年間で1千店舗を出店すると発表した。先に進出しているファミリーマートもすでに71店舗を出店しており20年までに500店舗の出店を目指している。イオンも4店舗目の出店を発表。相次ぐ小売店の進出はベトナムを小売市場と有望視している。

沖縄からの来越も増えてきている。企業も含め、個人でもベトナムに居住している人が増えてきた。この3、4年は県のジョブチャレンジ事業の成果で、ベトナムで働く人たちが確実に増えてきている。

それに伴い日本貿易振興機構（JETRO）などが手掛ける海外進出セミナーや現地での展示会など日本から海外に出やすい環境はそろってきている。

私が所属する和僑会という組織がある。海外で起業した日本人の集まりで、アジアを中心として日本国内にも組織がある。海外での事業展開を助け合う組織だ。ホーチミンでは10月6日に沖縄和僑会主催のカンファレンス、11月21〜22日に世界大会がある。私もパネルディスカッションに参加する予定なので海外進出を考えている方は、ぜひご覧いただきたい。

（ベトナム・JET代表）

次回は韓国の大嶺浩次・世一旅行社販売課次長です。